

スーパー三心小信店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

現在、店舗面積1,000㎡以下で営業中の食料品スーパーを増床する(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	平成23年11月10日		
店舗	店舗名称	スーパー三心小信店	
	店舗所在地	一宮市小信中島字郷東58番ほか8筆	
設置者	名称	株式会社三心	
	代表者	代表取締役 中島 稔夫	
	住所	岐阜県岐阜市西荘三丁目1番7号	
	備考	なし	
小売業者	名称	株式会社三心	
	代表者	代表取締役 中島 稔夫	
	住所	岐阜県岐阜市西荘三丁目1番7号	
	備考	なし	
店舗面積	1,232 ㎡		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	109 台
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	39 台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	137.7 ㎡
廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり	
	容量	52.5 ㎡	
施設の運営	営業時間	開店	午前9時(年間180日午前8時)
		閉店	午後9時30分
	駐車場利用時間帯	午前8時30分(年間180日午前7時30分)から午後10時まで	
	駐車場出入口	数	4箇所
		位置	別紙図面のとおり
荷捌時間帯	午前7時30分(一部午前6時)から午後4時(一部午前7時30分)まで		
新設する日	平成24年7月11日		

3 参考事項

敷地面積	5,373.68 ㎡		
建築面積	2,042.41 ㎡		
延床面積	2,036.61 ㎡		
業態	総合店		
用途地域	近隣商業地域	—	—
備考			

スーパー三心小信店

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について、情報収集し、検討します。
(2) 深夜営業の対応	深夜営業は行いません。
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知します。
(4) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため特にありません。
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命します。
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施します。
(7) 通年の臨時措置	特売日等の繁忙時で混雑が予想される場合は、交通整理員を配置します。
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を増員配置します。

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千㎡)	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域 の場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	必要駐車台数
386,132人	1,232 ㎡	1,063	14.40%	1,720 m	70.00%	2.00 人	0.61	40 台

総駐車台数	-	従業員等駐車台数	-	業務用駐車台数	-	搬出入用駐車台数	-	併設施設駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
109 台		0 台		0 台		0 台		0 台		109 台	○

(イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

a 指針の参考式による算出

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積/店舗面積)	必要駐車台数
25 ㎡	2.0%	109 台

総駐車台数	-	従業員等駐車台数	-	業務用駐車台数	-	搬出入用駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
109 台		0 台		0 台		0 台		109 台	○

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車台数	ピーク1hの来台車数
2箇所	0箇所	0箇所	0箇所	66 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内 駐車場	種別	1	収容台数	109 台	歩行者動線	分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	アイドリングストップ	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入庫方法	整理員	評価
東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西	1箇所	市町村道	8.5m	なし	36.9m	0m	66	双方向	右折のみ	あり	○
南	2箇所	県道	18m	あり	5m	0m	66	双方向	左折のみ	あり	○
北	1箇所	市町村道	8m	なし	39.1m	0m	66	双方向	右左折混合	あり	○

交通整理員等の配置 年間を通して混雑する時期のみ配備

	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価	○	○	○	○	○

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交通飽和度等の検討)

スーパー三心小信店

(ア)交通飽和度の検討

		休日			平日		
		現況	開店後	評価	現況	開店後	評価
交差点A	飽和度	0.280	0.301	○	0.307	0.313	○
	将来交通量/可能交通容量	0.540	0.560	○	0.630	0.650	○
	ピーク時間帯	16時台			17時台		
交差点B	飽和度	0.584	0.595	○	0.650	0.656	○
	将来交通量/可能交通容量	0.650	0.650	○	0.850	0.850	○
	ピーク時間帯	17時台			17時台		
交差点C	飽和度	0.471	0.495	○	0.604	0.629	○
	将来交通量/可能交通容量	0.560	0.630	○	0.680	0.750	○
	ピーク時間帯	18時台			17時台		
交差点D	飽和度	—	—	—	—	—	—
	将来交通量/可能交通容量	遅れなし	遅れなし	○	遅れなし	遅れなし	○
	ピーク時間帯	17時台			17時台		
交差点E	飽和度	—	—	—	—	—	—
	将来交通量/可能交通容量	非常に小	非常に小	○	非常に小	非常に小	○
	ピーク時間帯	17時台			16時台		

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

・県道18号線を右折出入庫させないようにするため、来退店経路を各方面ごとに設定します。
 ・なお、来店客へ変更後の経路の周知を図るため、折込チラシに経路を記載したり、駐車場内に案内看板の設置や路面表示等の対策を講じます。

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗南東側出入口付近に1箇所、店舗南西側出入口付近に1箇所
駐輪場の収容台数	39台
標準収容台数	36台
収容台数根拠	指針の標準収容台数による

位置評価	台数評価
○	○

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	なし	収容台数	0台
位置及び箇所	—		

位置評価	台数評価
—	—

キ 荷捌施設の整備等

(ア)荷捌施設の整備

場所	停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
荷さばき施設①	敷地内	混在	61.2㎡	あり	30分	1台	2台	○
荷さばき施設②	敷地内	隔離	76.5㎡	なし	30分	1台	2台	○

(イ)計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
6:00~7:00	2台	17:00~18:00	20:00~翌7:00	あり	なし	○

ク 経路の設定等

(ア)車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置	チラシ配布	非回避	非回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
あり	あり	配備

※非配備の場合等の対応

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

スーパー三心小信店

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置	評価
必要なし	なし	必要なし	○

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画	評価
実施	実施	○

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他	評価
配慮あり	あり		○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	9 m	なし	自動車走行音	なし	なし	-
西方向	1 m	なし	換気扇	なし	なし	-
南方向	18 m	なし	自動車走行音	なし	なし	-
北方向	8 m	なし	荷さばき・廃棄物収集作業	なし	なし	-

遮音壁の影響 視界の制約、風通し、日照等の影響なし

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	荷さばき施設の十分なスペースの確保と適切な配置により作業時間の短縮を図ります。
荷捌作業運営面での配慮	アイドリングストップ、時間調整による搬入待機車削減、騒音防止意識の徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	既存住宅に影響が少ない場所に設置
給排気口等からの騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討、ダクトの吸音対策
駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差の解消、アイドリングストップ等の呼びかけ
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避
経年劣化等の事後対策	機器周辺の防音措置の強化、機器の配置の見直し・更新

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	既存住宅に影響が少ない場所に設置
運営面の騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討、ダクトの吸音対策

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	18	冷却塔		給排気口	34	変電施設		浄化槽		ポンプ			
			冷凍機室外機	5	キュービクル	1									
変動騒音	自動車走行	○	後進警報ブザー	○	台車走行	○	BGM		アナウンス						
	ゴミ収集作業	○	アイドリング												
衝撃騒音	荷降り音	○	台車走行	○											
建物の構造(高さ)		鉄骨造平家建(最高7.3m/パラペット高さ2.5m)													

スーパー三心小信店

(2) 廃棄物関係 ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	厨芥その他臭いを放つものに関しては、密閉性を重視した建物内に保管します。 十分な回収頻度を確保し、悪臭の発生防止に努めます。
衛生問題関係配慮	生ゴミを保管する施設には、冷蔵・洗浄設備を設置します。

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	15.75 m ³	1日	0.256 t	0.10 t/m ³	2.56 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用	26.25 m ³	1日	0.009 t	0.10 t/m ³	0.09 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.007 t	0.10 t/m ³	0.07 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.025 t	0.01 t/m ³	2.46 m ³	変更なし	○
生ごみ用	10.50 m ³	1日	0.208 t	0.55 t/m ³	0.38 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	0.067 t	0.38 t/m ³	0.18 m ³	変更なし	○
合計	52.50 m ³	-	-	-	5.74 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b その他の廃棄物等 該当無し

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量 該当無し

a 飲食店の廃棄物等

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	なし	空缶・空き瓶の回収箱設置	なし
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	あり
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

・店頭にて、牛乳パック・白色トレー等の回収用リサイクルボックスを設置します。
・買い物袋持参運動等でレジ袋削減に取り組みます。
・自動販売機を設置する箇所には、空缶・空き瓶・ペットボトルの回収箱を設置します。

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施		分別廃棄を実施	
	搬出作業の利便性の確保	なし	特になし	
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	なし	夜間及び早朝作業は控える	
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	なし	あり	
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	なし	あり	

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	十分な回収頻度を確保し、悪臭の発生防止に努めます。
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	木曾川環境クリーン株式会社(2320001624) 株式会社金光(2310082663)
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	換気ダクトにより、住宅から遠ざけて排出できる様に計画します。
併設施設からの悪臭防止対策	万一の悪臭に対して必要な対策を講ずる旨を記載した契約を締結します。

評価	○
----	---

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	店舗敷地内外の清掃活動を推進します。
市町村等の公的計画への協力	特になし
照明等の配慮	隣接地への拡散防止・周辺への拡散防止に努めます。
敷地内の緑地計画	敷地境界沿いの角地等に緑地帯を設置しています。 (緑地:126.92m ² ÷5,373.68m ² ×100≒2.36%) 出入口付近の緑地帯については、視認性の確保のため芝生等を植栽します。

評価	○
----	---

市町村の意見概要	対応
意見なし	-

住民等の意見の概要	対応
意見なし	-

県の意見案	
意見なし	